



惜しまれながら閉店した「沖縄三越」 24



県内初の中核市誕生 23



首里少年少女合唱団
沖縄都市モノレール株式会社
祝 ゆいレール 出発式
県民念願のゆいレール開通10日 19



北京オリンピック
入賞の大城みさき選手 20



ゴルバチョフ元ソ連大統領が来沖 18



安室奈美恵さんに
歌手初の市民栄誉賞授与 17



那覇市役所旧庁舎 21



沖縄国際映画祭レッドカーペット 25



沖縄初のデパート
「沖縄山形屋」 15

新たな時代へ 2010年代～

未来に向けたまちづくり 2000年代

2022年(令和3年)	2020年(令和2年)	2019年(平成31年、令和元年)	2018年(平成30年)	2017年(平成29年)	2016年(平成28年)	2015年(平成27年)	2014年(平成26年)	2013年(平成25年)	2012年(平成24年)	2011年(平成23年)	2010年(平成22年)	2009年(平成21年)	2008年(平成20年)	2007年(平成19年)	2006年(平成18年)	2005年(平成17年)	2004年(平成16年)	2003年(平成15年)	2002年(平成14年)	2001年(平成13年)	2000年(平成12年)	1999年(平成11年)
◆市制施行100周年 ◆新型コロナウイルスの世界的流行	◆首里城火災、正殿など焼失 28 ◆「ゆいレール」が「浦西駅」まで延長 28 ◆第一牧志公設市場建て替えに伴う閉場、仮設市場開業	◆元号が平成から令和に ◆「琉球料理、泡盛、芸能」など16件が日本遺産登録 ◆「琉球王国のグスフ及び関連遺産群」が世界遺産に登録	◆波の上のみそら公園が沖縄国際映画祭のメイン会場に 25 ◆「のうれんプラザ」オープン ◆新那覇バスターミナル開業 ◆弁ヶ嶽が国指定史跡に指定 ◆玉陵が県内の建造物として初の国宝認定 26 ◆プロ野球山川穂高選手に市民栄誉賞授与 27	◆「のうれんプラザ」オープン ◆那覇空港新国際線旅客ターミナルビル供用開始 ◆オオゴマダラを「市の蝶」に制定 ◆若狭バスフェスタ船ターミナルビル運用開始 ◆創業57年の歴史を持つ「沖縄三越」が閉店 24 ◆なほ市民協働プラザオープン	◆市役所新庁舎オープン ◆オスプレイの配備撤回を求める那覇市民大会 ◆県内初の「中核市」へ移行、那覇市保健所開所 23 ◆那覇空港新国際線旅客ターミナルビル供用開始 ◆オオゴマダラを「市の蝶」に制定 ◆若狭バスフェスタ船ターミナルビル運用開始 ◆創業57年の歴史を持つ「沖縄三越」が閉店 24	◆女子プロゴルフ宮里美香選手が米ツアーで初優勝、市民栄誉賞授与 22 ◆市役所新庁舎オープン ◆オスプレイの配備撤回を求める那覇市民大会 ◆県内初の「中核市」へ移行、那覇市保健所開所 23 ◆那覇空港新国際線旅客ターミナルビル供用開始 ◆オオゴマダラを「市の蝶」に制定 ◆若狭バスフェスタ船ターミナルビル運用開始 ◆創業57年の歴史を持つ「沖縄三越」が閉店 24	◆高校野球選手権大会で興南高校が史上6校目の春夏連覇を達成 ◆読売巨人軍那覇キャンプ始まる ◆東日本大震災 ◆さいおんスクエアまちびらき 22 ◆女子プロゴルフ宮里美香選手が米ツアーで初優勝、市民栄誉賞授与 22	◆第80回選抜高校野球大会で沖縄尚学が優勝 ◆北京オリンピック女子重量挙げ48キログ級で那覇市出身の大城みさき選手が8位入賞 20 ◆那覇市役所旧庁舎44年の歴史に幕。新都心地区の仮庁舎に一時移転 21 ◆沖縄セルラースタジアム那覇・沖縄セルラーパーク那覇落成 ◆マゴロを「市の魚」に制定	◆京都・熊本間を運航していた寝台特急列車「なほ」廃止 ◆第80回選抜高校野球大会で沖縄尚学が優勝 ◆北京オリンピック女子重量挙げ48キログ級で那覇市出身の大城みさき選手が8位入賞 20 ◆那覇市役所旧庁舎44年の歴史に幕。新都心地区の仮庁舎に一時移転 21 ◆沖縄セルラースタジアム那覇・沖縄セルラーパーク那覇落成 ◆マゴロを「市の魚」に制定	◆市内全校で2学期制スタート ◆市保有の「琉球国王尚家関係資料」1,251点が戦後初の国宝指定 ◆知花くららさん(那覇市出身)がミス・ユニバースで2位に ◆本土復帰後の累計入域観光客数が1億人を突破 ◆京都・熊本間を運航していた寝台特急列車「なほ」廃止 ◆第80回選抜高校野球大会で沖縄尚学が優勝 ◆北京オリンピック女子重量挙げ48キログ級で那覇市出身の大城みさき選手が8位入賞 20	◆市内全校で2学期制スタート ◆市保有の「琉球国王尚家関係資料」1,251点が戦後初の国宝指定 ◆知花くららさん(那覇市出身)がミス・ユニバースで2位に ◆本土復帰後の累計入域観光客数が1億人を突破 ◆京都・熊本間を運航していた寝台特急列車「なほ」廃止 ◆第80回選抜高校野球大会で沖縄尚学が優勝 ◆北京オリンピック女子重量挙げ48キログ級で那覇市出身の大城みさき選手が8位入賞 20	◆新都城心銘苅庁舎開所 ◆沖縄都市モノレール「ゆいレール」開通 19 ◆ベロアタクシー稼働 ◆桜坂シネコン琉球映画館、桜坂劇場オープン ◆ダイエー那覇店閉店	◆家庭ごみ有料化開始 ◆国映館とランドオリオンが47年の歴史に幕を下ろし閉館 ◆サンエー那覇メインプレイスがオープン ◆新都心銘苅庁舎開所 ◆沖縄都市モノレール「ゆいレール」開通 19 ◆ベロアタクシー稼働 ◆桜坂シネコン琉球映画館、桜坂劇場オープン ◆ダイエー那覇店閉店	◆守礼門が二千円紙幣の図柄に 16 ◆九州・沖縄サミット首脳会合が沖縄で開幕 ◆歌手の安室奈美恵さんに市民栄誉賞授与 17 ◆「琉球王国のグスフ及び関連遺産群」が世界遺産に登録 ◆NHK連続朝のテレビ小説「ちゅらさん」放送開始 ◆ゴルバチョフ元ソ連大統領が来沖。那覇市民会館で記念講演会を開催 18	◆第71回選抜高校野球大会で沖縄尚学が初優勝 ◆漫湖がラムサール条約登録湿地に認定 14 ◆那覇空港国内線旅客ターミナルビル供用開始 ◆沖縄初のデパート「沖縄山形屋」閉店 15	◆第71回選抜高校野球大会で沖縄尚学が初優勝 ◆漫湖がラムサール条約登録湿地に認定 14 ◆那覇空港国内線旅客ターミナルビル供用開始 ◆沖縄初のデパート「沖縄山形屋」閉店 15						



首里城火災 28



山川穂高選手にプロ野球選手初となる市民栄誉賞授与 27



琉球王朝王族が眠る玉陵(たまうどうん) 26



憩いの場さいおんスクエア 22

市長あいさつ

「次の100年を築く人材を育む」
はいたい。5月20日、那覇市は100歳の誕生日を迎えます。先の大戦により灰燼(かいじん)に帰した喪失からの再生、そして復興と激動の100年を経て、本市はめざましい発展を遂げ、いま新たな世紀の扉を開こうとしています。

そして、経済成長著しい東アジアに近接する地理的優位性や高い潜在力を活かしながら、観光関連産業をリーディング産業とし、沖縄県の政治・経済・文化の中心として、さらなる経済発展が期待されていた中、昨年はコロナ禍という未曾有の事態に直面しました。

かつてない困難を乗り越え、めまぐるしく変化していく社会の中で本市の発展を支えるのは「人」であり、次代を担う人材をしっかりと育むことが重要だと思っています。「人材こそ、すべてに共通する財産である」。人々の生活や価値観、社会の常識を大きく変えたコロナ禍を経て、新しい未来を拓く鍵となるのが人々の英知であり、育まれた人材は大きな財産となつて、県都・那覇をさらなる高みへと導く礎になると固く信じています。

次の100年も、だれもが心豊かに暮らせる那覇市であるよう決意を新たにし、これからも全力で取り組んでまいります。ゆたさるくとううにげーさびら。

那覇市長
城間幹子

